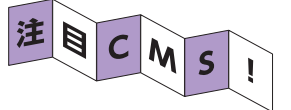


[中小企業向けのライセンスも新設。マニュアルいらずのCMS]



担当者が使いやすく、高速で安全な静的CMS 「Web Meister G」が支持される理由

「Web Meister G」は、Web制作会社である(株)サイズが開発したCMSです。開発から18年以上、普遍的な使いやすさを追求し、地道に支持を広げてきました。2021年4月からは、中小企業向けのライセンスも新設予定。今回、開発陣の2名にWeb Meister Gが「特に支持を集める3つの特長」について、話をうかがいました。
Text: 遠藤義浩 Photo: 黒田 彰



糟谷博陸さん
株式会社サイズ
代表取締役/
プロデューサー



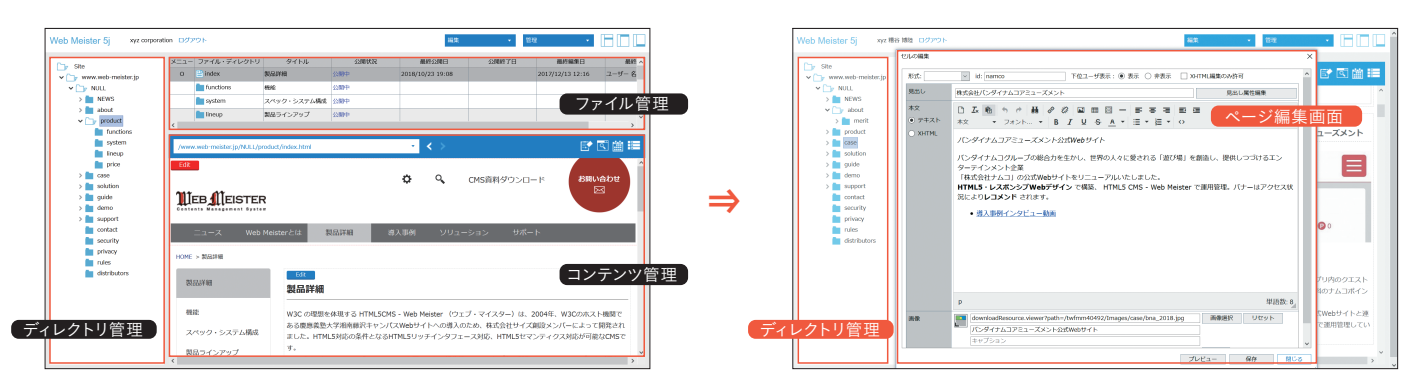
山本 聡さん
株式会社サイズ
取締役/
クリエイティブディレクター

ウェブマイスター
Web Meister Gとは?

Webサイトに求められる各種機能を実装するほか、長年のWeb制作現場での知見に基づき、効率よく普遍的に運用できるCMS。2021年4月より、初期費用10万円+運用費1万円(月額)で利用可能な中小企業向けライセンスをスタート予定。

Web Meister
Contents Management System
<https://www.web-meister.jp/>

1 管理画面が、Office製品やメールソフトのような見慣れたUI



管理画面は、「ディレクトリ管理」と「ファイル管理」、指定したファイルを表示する「コンテンツ管理」の3ペインで構成されています

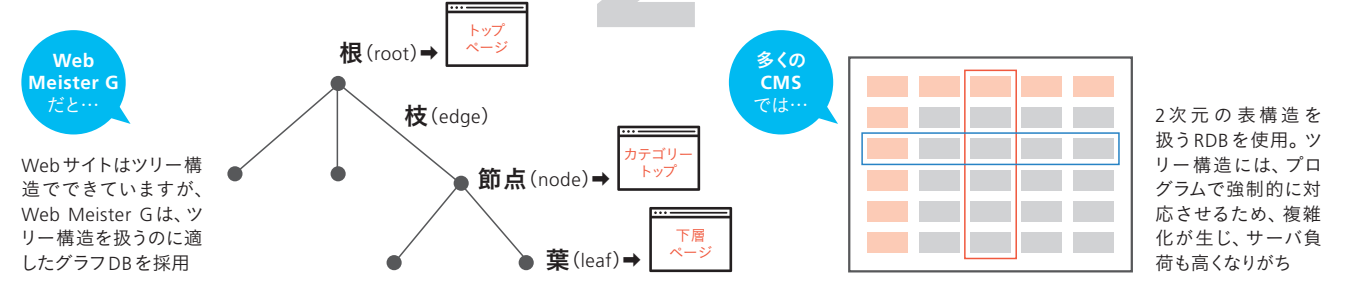
任意のファイルを指定し、プレビュー画面の「Edit」ボタンを押すと、WYSIWYG形式の編集画面に切り替わります

「Web Meister(ウェブマイスター)」は、(株)サイズが提供するCMSで、2004年、W3Cのホスト機関である慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスへの導入のために開発。以後、Web標準技術を採用し各種機能を搭載するほか、誰もが使いやすいインターフェイスを備えるCMSとして、大手企

業や国内有数の学校法人で多数導入され、全国各地で運用されています。「特長の1つが、マニュアルを見なくても直感的に操作できるわかりやすさです。プログラムに接したことがない企業のWeb担当者のみなさんにとって、迷わず使えるUIが強みです」(糟谷博陸さん)

「管理画面は、Office系やメーラーのような、ビジネスパーソンが見慣れた3ペイン構造を採用。プレビュー画面の「Edit」ボタンを押すと、WYSIWYG形式(ブラウザでWebページが表示された状態)の編集画面に切り替わるので、簡単にテキストの編集や更新が可能です」(山本聡さん)

2 サイト構造がぐちゃぐちゃにならない仕組み

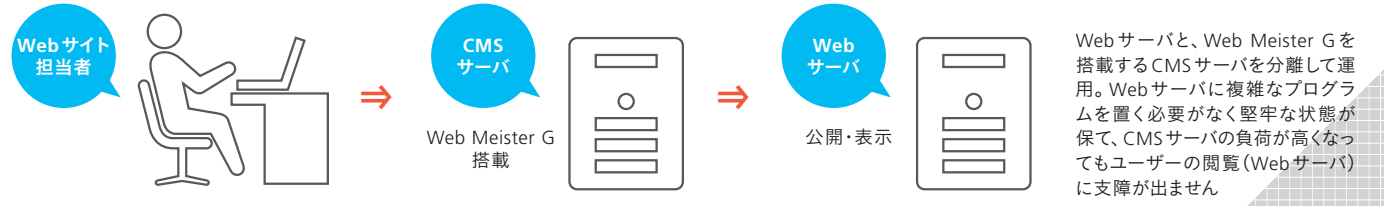


Web Meisterの新バージョン「G」の最大の強みが、ディレクトリ(Webサイト全体の構造)を確認しながらコンテンツを構築できることです。元来、Webサイトは、源となる根(トップページ)があり、根からそれぞれの節点(各カテゴリーページ)があって、さらに各節点につながる葉(各カテゴリーの詳細を伝える下層ページ)がある、

といった「ツリー構造」でつくります。Web Meister Gの仕様もその構造に沿って、各ページを作成します。1の管理画面の画像のとおり、「ディレクトリ管理」が常に確認できる状態です。では、なぜツリー構造に対応できることが「強み」になるのでしょうか? 「多くのCMSが対応できていないからです。例えば、WordPressなどはRDB(リレーシヨ

ナルデータベース)と呼ばれる、表構造を扱うDBを採用するので、ツリー構造には無理やりプログラムで対応させています。その結果、プログラムのコード量が増大するほか、サーバへの負荷が高くなってしまいます。そうした多くのCMSが抱える懸念を気にせず、サイト構造を管理できるのがWeb Meister Gなのです」(糟谷さん)

3 高速で安全な静的CMS



Web Meister Gは静的CMSです。例えば、ECサイトやログインページが必要な、個人情報を扱う必要のないWebサイトであれば、アクセス過多に対応しやすく、堅牢で表示速度が速い静的CMSが目的に合致しやすいはず。しかもWeb

Meister Gは、2021年4月から中小企業向けのライセンスを販売開始予定。初期費用と月額1万円~の運用費で、実績豊富な静的CMSの利用が可能になります。「Web Meister Gなら、搭載するCMSサーバとWebサーバを分けて運用するので、Webサーバに負担がかからず高パフォーマンスで安心した運営ができます。Word

Pressだと初期費用は無償でも、一時的なアクセス過多対策や保守対応、バージョンアップ管理などを考慮すると、サーバの維持費だけで想定外の出費が想定されます。実際、Web担当者の手に余る技術的な対応も必須なのが現実です」(山本さん) 3つの特長を念頭に、自社の目的にかなうCMSとして、ぜひ検討してみてください。

Web Meister Gの販売代理店制度がスタート!

(株)サイズは、今春から販売代理店制度を始めます。クライアントニーズに対応できる静的CMSを探すWeb制作会社は、導入実績が豊富な「Web Meister G」が選択肢になるかもしれません。CMS導入を検討する企業担当者やパートナー契約に興味があるWeb制作会社は右記のご確認を!

株式会社サイズ / xyz corporation
問い合わせ先
<https://www.web-meister.jp/contact/index.php>
CMS資料ダウンロード
<https://www.web-meister.jp/guide/download.html>